

# 第77回 CPD セミナー・『公開講座』・防災セミナー・倫理セミナー(徳島)

## 1 セミナーの概要

2022年5月28日(土)に、徳島市のホテル千秋閣にて、第77回 CPD セミナー・『公開講座』・防災セミナー・倫理セミナーを開催しました。あわせて技術士二次試験合格者祝賀会も開催しました。

表1 プログラム

<b>1. 開会 (13:00~13:25)</b>
(1) 開会挨拶 (公社) 日本技術士会四国本部 本部長 古野 隆久
(2) 四国本部及び青年技術士委員会の紹介 (公社) 日本技術士会四国本部 広報委員 菊池 昭宏
<b>2. CPDセミナー (13:35~14:35)</b>
演 題:『無言の語り部 那賀川鉄橋～紙芝居が伝える平和の尊さ～』 講 師:(株)エフ設計コンサルタント 川田 香奈子氏 那賀川婦人会 安田 紀子氏
<b>3. 公開講座 (14:45~15:45)</b>
演 題:『111年の時を超えて～日露戦争時の写真に見る日露友好の記憶～』 講 師:個人事務所「立木写真館 1883」代表 立木 さとみ 氏
<b>4. 防災セミナー (15:55~16:55)</b>
演 題:『南海トラフ巨大地震への備え～東日本大震災の対応から見えるもの～』 講 師:石巻市・元建設技術管理監、公社団法人日本技術士会 防災支援委員会・元委員長、現(株)テクニカルエイト統括技術部特別顧問 大元 守氏
<b>5. 倫理セミナー (17:05~18:05)</b>
演 題:『技術者倫理について～改むるに憚ることなかれ～』 講 師:阿部技術士・労働安全コンサルタント事務所 所長 阿部 弘氏
<b>6. 合格者祝賀会 (19:00~21:00)</b>
(1) 開会挨拶 四国本部事業委員長 豊崎 裕司
(2) 乾杯 四国本部副本部長 富士 達雄
(3) 合格者の紹介
(4) 中締め 四国本部防災委員長 天羽 誠二

セミナー参加人数は、63名、うち一般参加者は0名、祝賀会参加人数は57名、うち新規合格者は6名でした。

## 2 開会挨拶 古野本部長

四国本部 古野本部長の開会挨拶で始まりまし



写真1 古野本部長の開会挨拶

## 3 四国本部及び青年技術士委員会の紹介

### 菊池広報委員

四国本部 広報委員会の菊池委員より、日本技術士会の紹介、また四国4県における青年技術士交流委員会活動について、コロナ禍のなかでも活発であった本年度の活動内容を挙げての紹介がありました。



写真2 菊池広報委員による紹介

#### 4 CPD セミナー 川田 香奈子氏,安田 紀子氏

CPD セミナーは、(株)エフ設計コンサルタント 川田 香奈子氏、那賀川婦人会 安田 紀子氏より、『無言の語り部 那賀川鉄橋～紙芝居が伝える平和の尊さ～』と題しました講演を頂きました。

講演では、最初に那賀川鉄橋の諸元、空襲当時の鉄道整備状況を示したうえで、那賀川鉄橋に残る弾痕とそれを残した米軍戦闘機攻撃記録の調査結果等について説明頂きました。そして県婦人会の戦争を語り継ぐ会で「那賀川鉄橋列車爆撃」と題し紙芝居を行うという、この活動が生まれた経緯を紹介された後、紙芝居にうつりました。

紙芝居は、那賀川婦人会 安田 紀子氏による実演です。終戦直前の1945年7月30日、各地で空襲が続く中、満員の乗客を乗せた列車が艦載機の投爆、機銃掃射を受け、子供を含む多数の死傷者が出たことを、悲痛な絵、心に響く語りによって紹介され、その後、慰霊祭が行われ尊い平和への願いを込めた取組が継続されていることを示し、まとめとされました。



写真3 川田 香奈子氏の講演, 安田 紀子氏の紙芝居

#### 5 公開講座 立木 さとみ氏

公開講座は、講師に個人事務所「立木写真館1883」代表 立木 さとみ氏をお招きし、『111年の時を超えて～日露戦争時の写真に見る日露友好の記憶～』と題しましたご講演を頂きました。

講演では、2016年1月のある日、立木写真館にロシアから突然メールで送られてきた、数枚の日露戦争時におけるロシア兵俘虜の写真から始まります。台紙のネームから当写真館の撮影であることがわかり、さらに調査を進めると、当時の俘虜

達が想像以上の人道的な扱いを受けていたこと、また俘虜達と近隣の住民や日本兵との交流などが次第に明らかになってきます。

さらに続く、写真に写るロシア兵のひ孫と撮影者のひ孫である立木氏との、日本での出会い、交流、その出来事を日本とロシアで116回講演するに至るまでの、写真を起点としたストーリーは、まさに怒濤の展開であるとともに、今だからこそ必要とも言える戦時下の友好の大切さを、あらためて呼び覚ましてくれました。



写真4 立木 さとみ氏の講演

#### 6 防災セミナー 大元 守氏

防災セミナーは、講師に(株)テクニカルエイト 統括技術部 特別顧問 大元 守氏をお招きし、『南海トラフ巨大地震への備え～東日本大震災の対応から見えるもの～』と題しましたご講演を頂きました。

講演では、最初に、我が県の最大の課題である南海トラフ巨大地震の地震・津波被害を、東日本大震災と対比して示し、対応課題を明らかにされました。またご自身が直接関わった経験から、道路啓開や災害ガレキの分別、収集、効率的な処理等、初期対応で考えるべきこと、次に、膨大な被災調査における体制作りや被災住民意見を反映した復興計画作り等、福島沿岸における復旧・復興計画での取組み、また、市街地復興工事の調整等、石巻市の復興事業での取組み等、多様な事例を、多数のデータと深い考察とともに紹介いただきました。

最後に、東日本大震災対応から見えるものとして震災後の人口地域格差の拡大、また実践的な防災訓練と防災教育のあり方を挙げ、南海トラフ巨大地震への備えとして、①地域特性・住民意見を

踏まえた地域主体の復興計画づくり、②発災時の初動対応、③激甚化する自然災害への備え、④将来を俯瞰した復興計画の実現が必要として具体的な知見とともに示し、まとめとされました。



写真5 大元 守氏の講演

## 7 倫理セミナー 阿部 弘氏

防災セミナーは、講師に阿部技術士・労働安全コンサルタント事務所 所長 阿部 弘氏をお招きし、『技術者倫理について～改むるに憚ることなかれ～』と題しましたご講演を頂きました。

ご講演は、まず、「過ちては則ち改むるに憚ることなかれ」(論語・学而編)という言葉を紹介され、失敗する可能性は誰にでもあること、失敗体験が真の科学的理解につながることを、実験等の科学的知見とともに示されました。

そのうえで、各分野の様々な失敗事例、データの改ざん・ねつ造等の不正事例を時代背景とともに挙げ、不正防止には不正が起こらないような企業風土の醸成、不正ができない製造ラインの構築の程度が必要であること、不正や悪事が漏れないと以为てもいつかは必ず世間の人に知られるようになり、隠したり嘘をついたり辻褃合わせをする等、改めるのを憚ると天罰観面、悪事の報いはわが身に跳ね返ってくるとして、講演を締めくくられました。



写真6 阿部 弘氏の講演

## 8 合格者祝賀会

豊崎事業委員長の挨拶、富士副本部長の乾杯の音頭で祝賀会が始まり、約2時間の歓談の後、天羽防災委員長の中締めの挨拶で閉会しました。



写真7 天羽防災委員長の中締め

## 9 おわりに

今回は、コロナ禍がいったん落ち着きつつある時期の開催ということもあり、セミナー参加者63名のうち、会員が27名、非会員が36名と非会員の割合が多い結果となりました。一方、祝賀会に出席された新合格者数は、祝賀会が未実施であった令和元年度新規合格者の方2名も含む昨年の計5名から、今年は6名に増加しました。

今後は、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)徳島県測量設計業協会等への後援依頼や技術士会独自の広報活動を展開すると共に、セミナー内容の充実を図ることにより、出席者の確保に努めて参ります。

大村 史朗 (おおむら しろう)  
技術士(建設部門)  
四国本部事業委員  
四国建設コンサルタント(株)